ニューヨーク補習授業校だより

平成３０年　２３号
校　長　青木　正彦

第３８回海外子女文芸作品コンクール審査結果発表

学校賞　再び受賞しました！

今年度も作品応募数に比して優れた作品が多数あったことから、最も名誉ある「学校賞」を 2015 年度に続き再び受賞することができました。正しく豊かな日本語による表現活動を評価されたことに、参加したすべての児童・生徒さんは、自信を持ってほしいと思います。今年も４万点を超える、詩、短歌、俳句、作文の応募作品の中から、見事に入賞を果たした皆さんを紹介させていただきます。

入賞した皆さん、おめでとうございます。

ニューヨーク補習授業校			学校賞	1万円相当の図書１４冊
那須　藍貴	初４	作文	JFE21世紀財団賞	賞状、楯、「地球に学ぶ」
ビエムシアナ彩美	初６	短歌	JFE21世紀財団賞	賞状、楯、「地球に学ぶ」
阿多　恵玲奈	初２	作文	優秀賞	賞状、楯、「地球に学ぶ」
岡田　英虎	初３	作文	優秀賞	賞状、楯、「地球に学ぶ」
安立　宙陽	初２	作文	佳作	賞状、メダル
米澤　環	初３	作文	佳作	賞状、メダル
桂木　花音	初１	詩	佳作	賞状、メダル
ハナガン　ジョン	初６	俳句	佳作	賞状、メダル
那須　咲代	中２	俳句	佳作	賞状、メダル

LI 校中高等部スピーチ大会レベル高く大激戦!!

大会に出場した各学年からの 19 名もの精鋭のスピーカーたちの素晴らしき競演！

トップバッター中等部１年の福島君のスピーチから、場内はしんと静まりかえり、スピーカーの呼吸音までが講堂にこだまする。スタートの中等部のスピーカーから、会場は、熱気と興奮に包まれた。感動は高等部の最後のスピーカーまで続き、生徒皆さんによる審査は、高得点の激しい戦いとなった。伝統の大会も第２１回目を迎え、まさに「花開く」段階と言える。

武井　蓮乃	中２	最優秀賞	「いじめのない世界」
サリバン　花理	高２	優秀賞	「ピカソの望む世界」
高橋　悠真	高２	優秀賞	「点はやがて線になる」
山口　茜	高１	入賞	「How to Survive – ボーダレス社会」
猿見田　美星	中２	入賞	「障がい者を優先する社会を」
小倉　真那	中１	入賞	「バレーボール」
錦織　健人	中１	審査員特別賞	「一つの願い」

「人間という生き物はどうしてほかの人間に残酷な態度をとれるのでしょうか。」と怒りにも似た激しい感情を押さえながら武井さんのスピーチは始まった。「いじめ」という重いテーマを扱いながらも、等身大のわかりやすい内容と切々と訴える語り口で、聴衆の心を鷲掴みにし、見事に最優勝賞の栄冠を勝ち取った。